

7. 発展的広域化

沖縄県における水道広域化の取組み

沖縄県環境生活部
生活衛生課
大城 貴



「新水道ビジョン推進のための地域懇談会」
平成26年2月21日（金）福岡国際会議場

沖縄県における水道広域化の取組み

沖縄県環境生活部 生活衛生課
大城 貴



— 概要 —

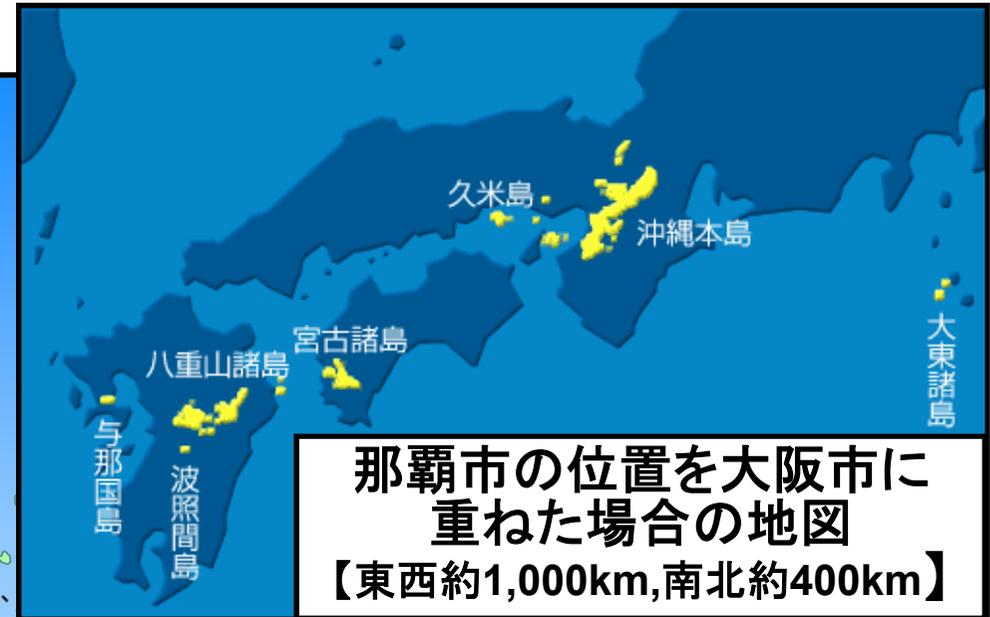
- 1 沖縄県の地勢・水道の現状
- 2 沖縄県の計画
- 3 沖縄県における取組み状況
- 4 今後について



1. 沖縄県の地勢・水道の現状

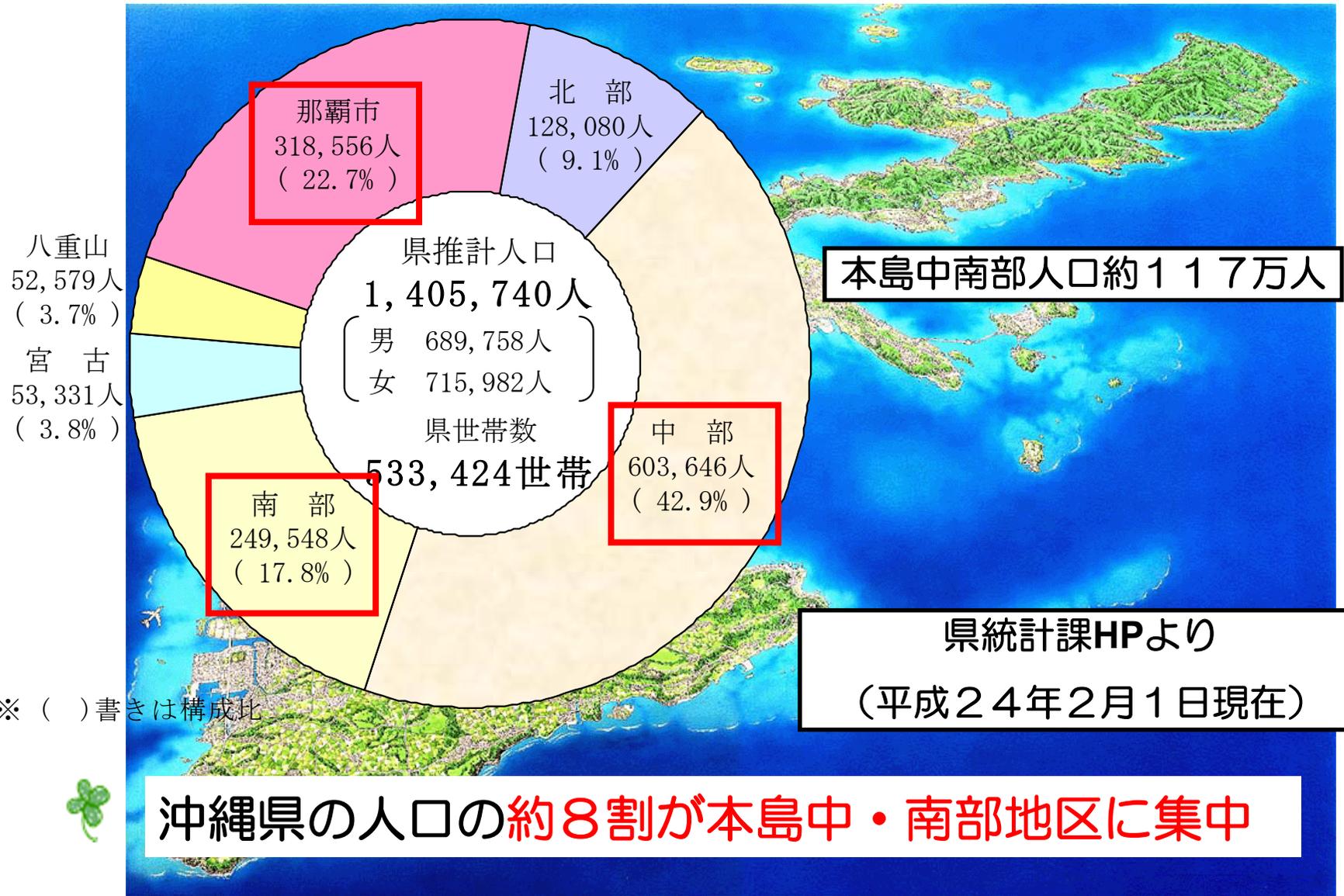
1. 沖縄県の地勢・水道の現状

— 島嶼県 —



- 県土の総面積: 約2,276km² (国土の0.6%)
- 大小160の島々、有人島49島
- 広い行政エリア

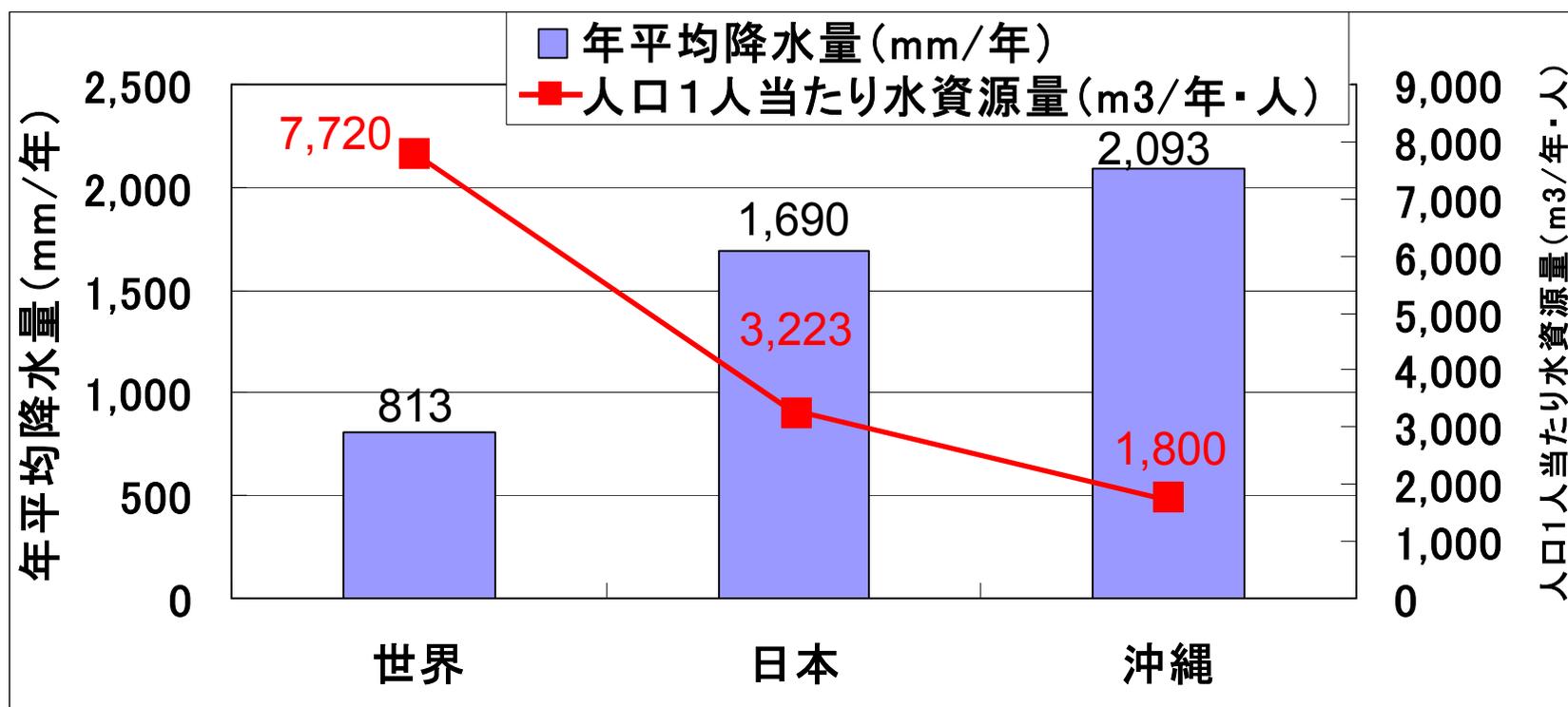
1. 沖縄県の地勢・水道の現状 —人口分布—



1. 沖縄県の地勢・水道の現状

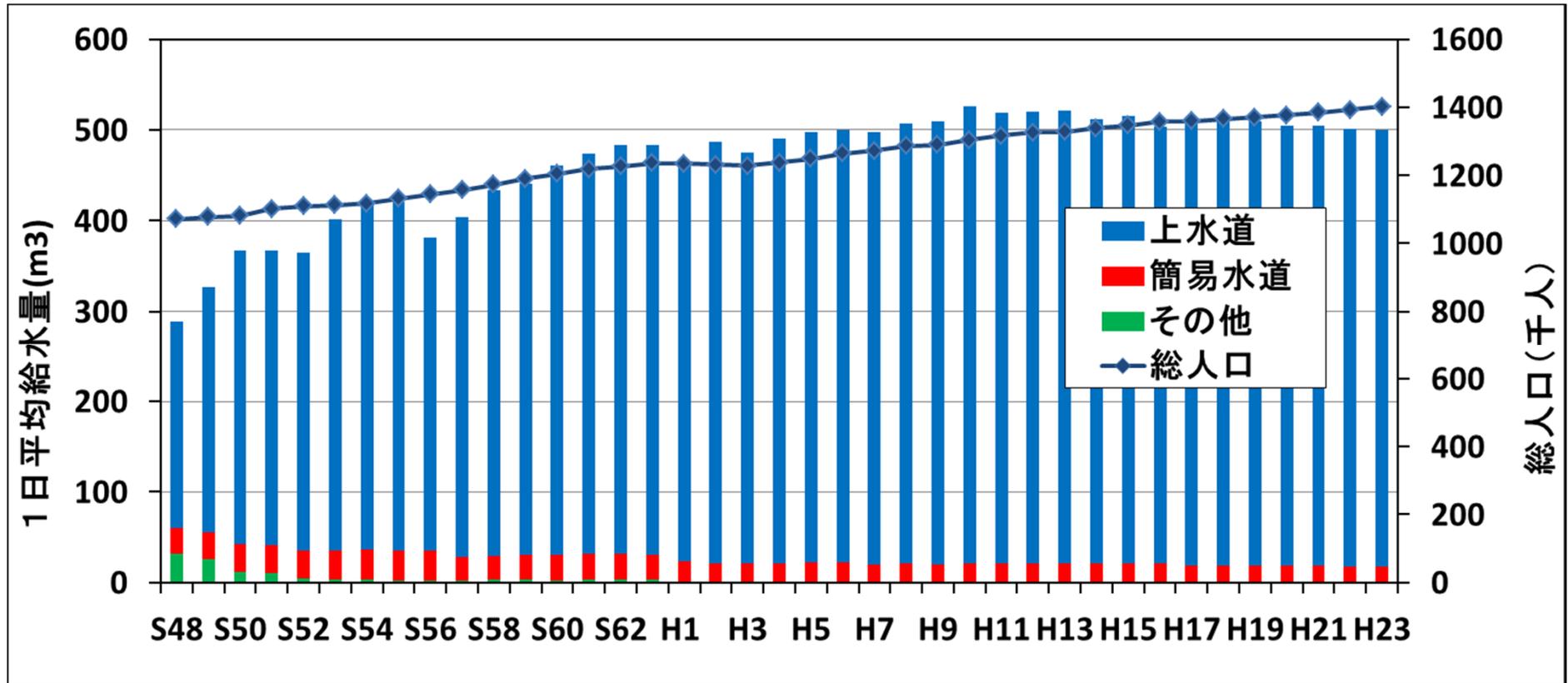
—水資源—

※データ「日本の水資源(H25年版)」より



- 🍀 沖縄の降水量は、世界平均、全国平均より多い。
- 🍀 沖縄の人口一人当たりの水資源量は逆に少ない。

1. 沖縄県の地勢・水道の現状 —人口と給水量—



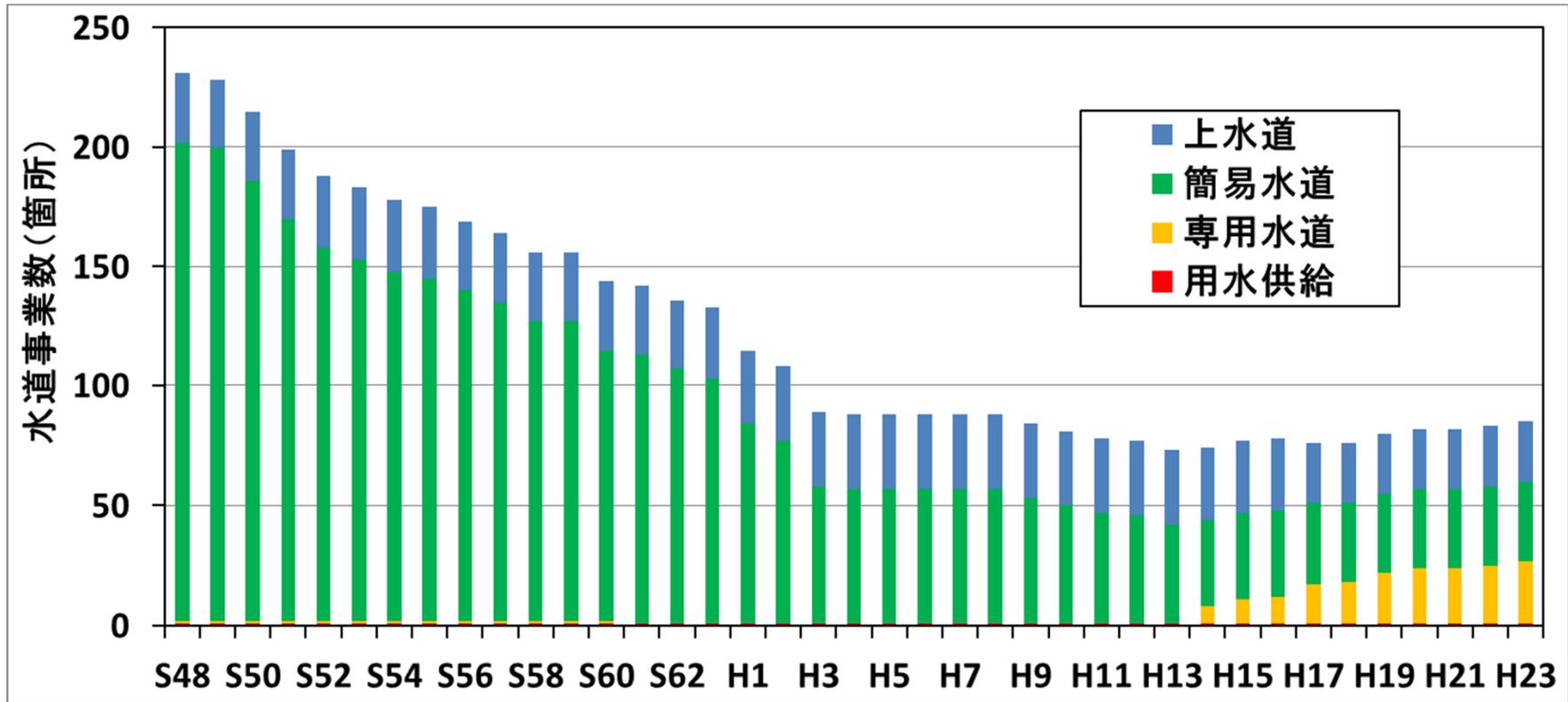
S48 総人口：1,072千人
 日平均給水量：290千m³



H23 1,402千人
 500千m³

○平成15年度に水道普及率がほぼ100%を達成。

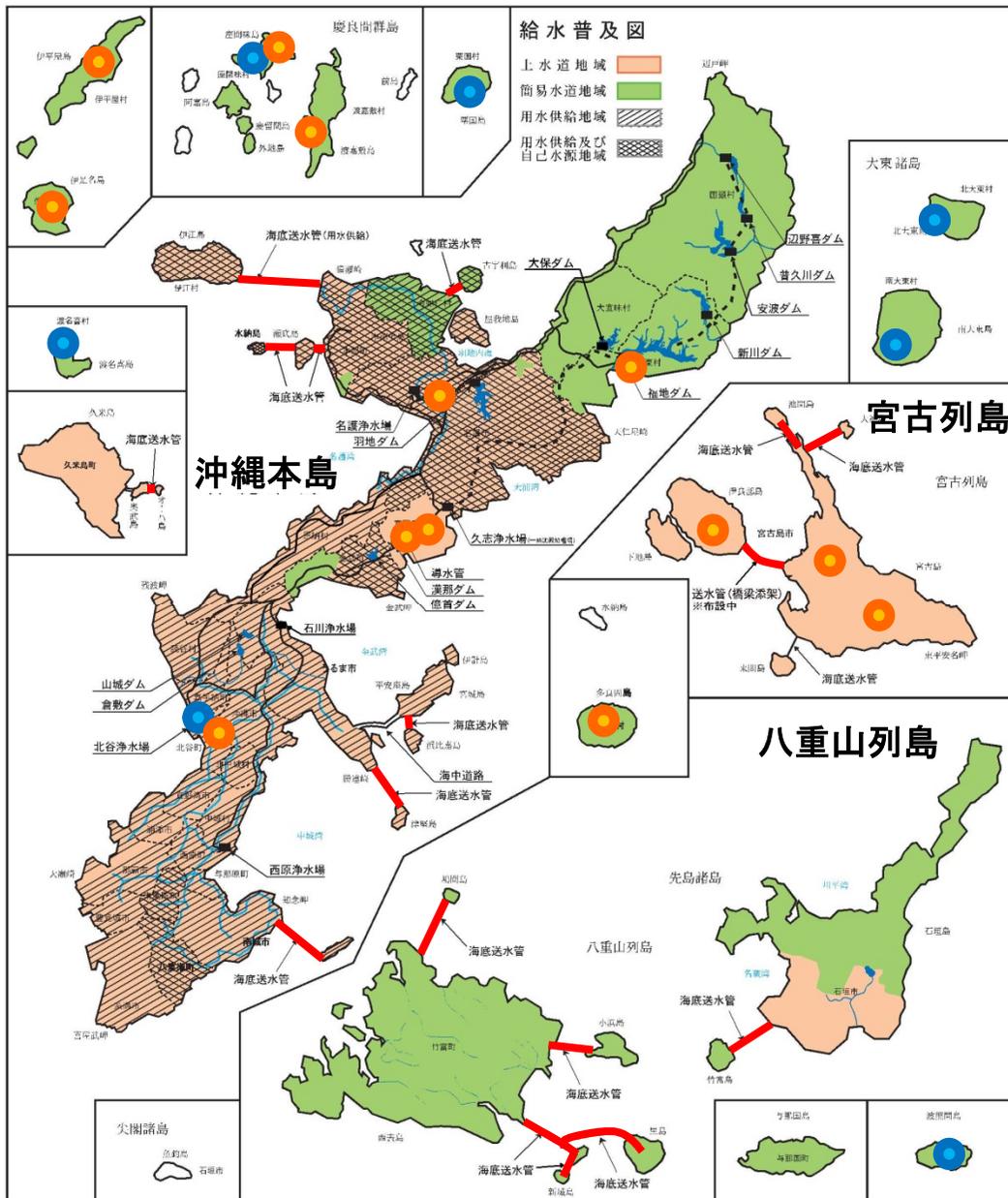
1. 沖縄県の地勢・水道の現状 —水道事業体数—



	S48	→	H23	(注)
○上水道事業	29	→	25	(主に市町村合併)
○簡易水道事業	200	→	33	(主に簡水統合、上水編入)
○用水供給事業	1	→	1	(県企業局)
○専用水道	1	→	26	(ESCO方式による増加)

1. 沖縄県の地勢・水道の現状

—水道普及図—



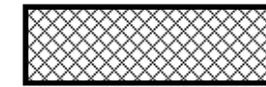
... 上水道地域



... 簡易水道地域



... 用水供給地域



... 用水供給及び自己水源地域



... 海底送水管
(16箇所、60km)



... 海水淡水化施設
(7事業体)

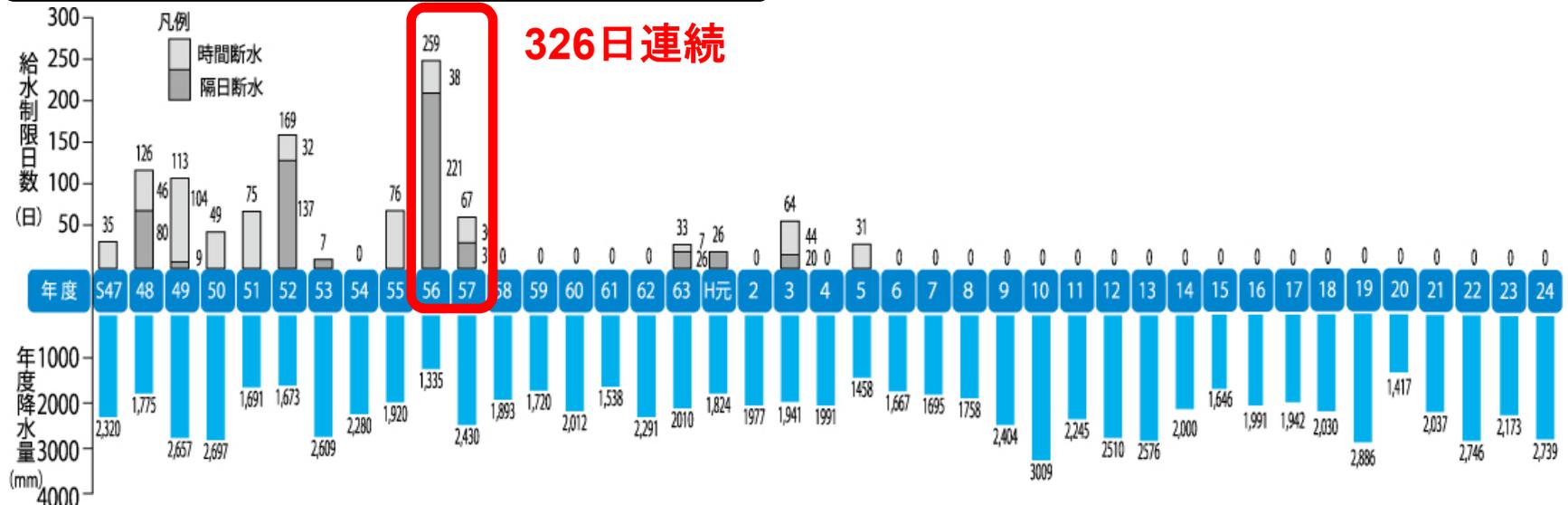


... 高度浄水処理施設
(11事業体、14浄水場)

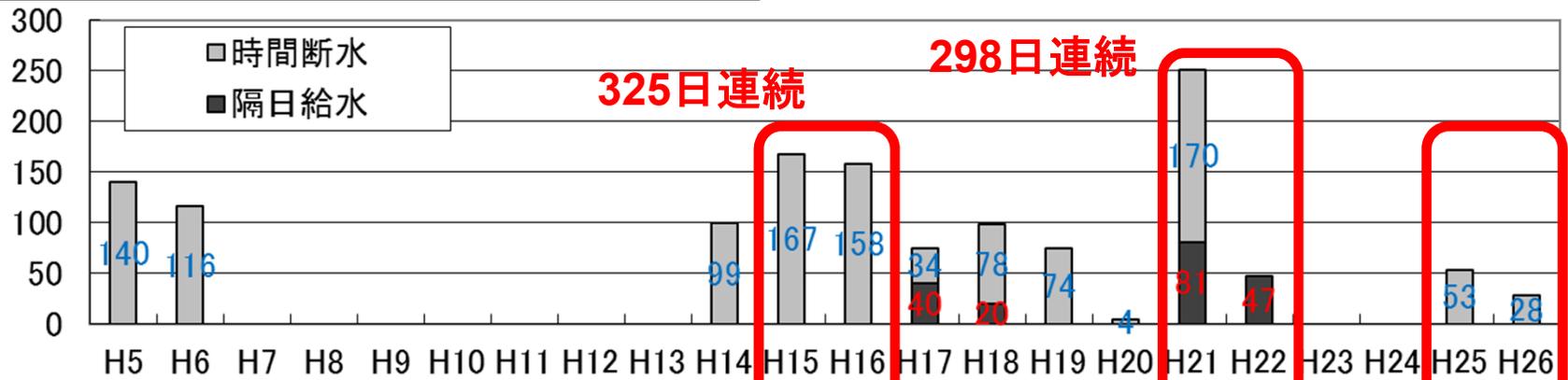
1. 沖縄県の地勢・水道の現状

—制限給水—

沖縄県企業局



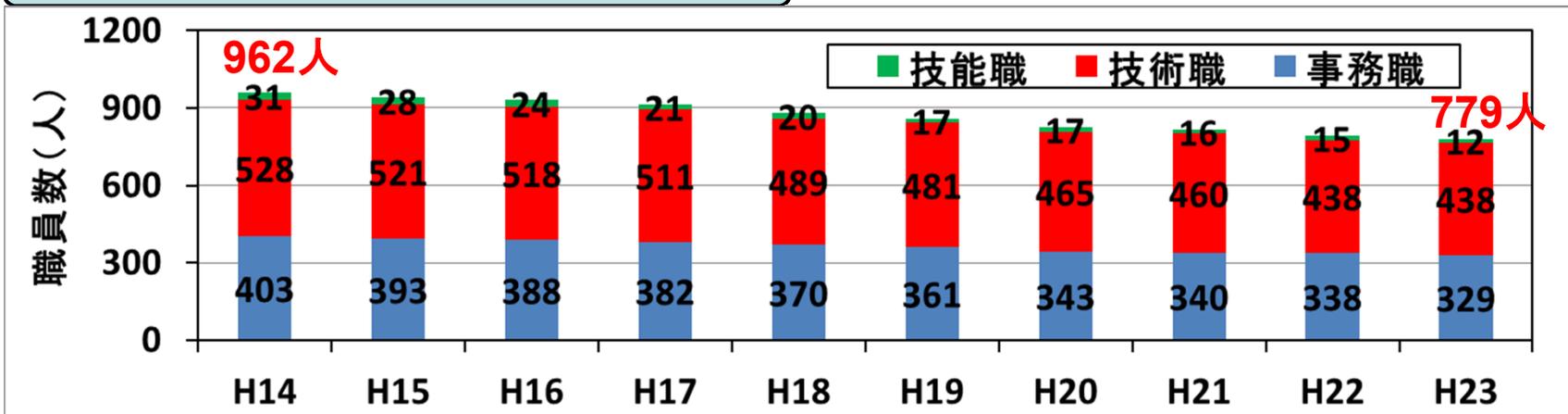
A村(離島簡水)



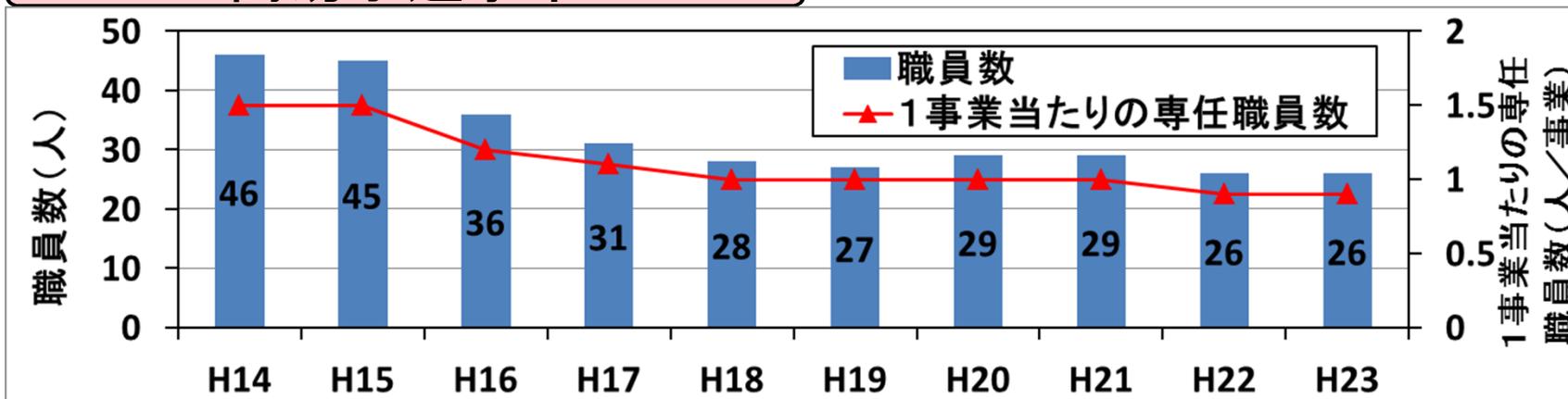
1. 沖縄県の地勢・水道の現状

—技術者数—

上水道及び用水供給事業



簡易水道事業

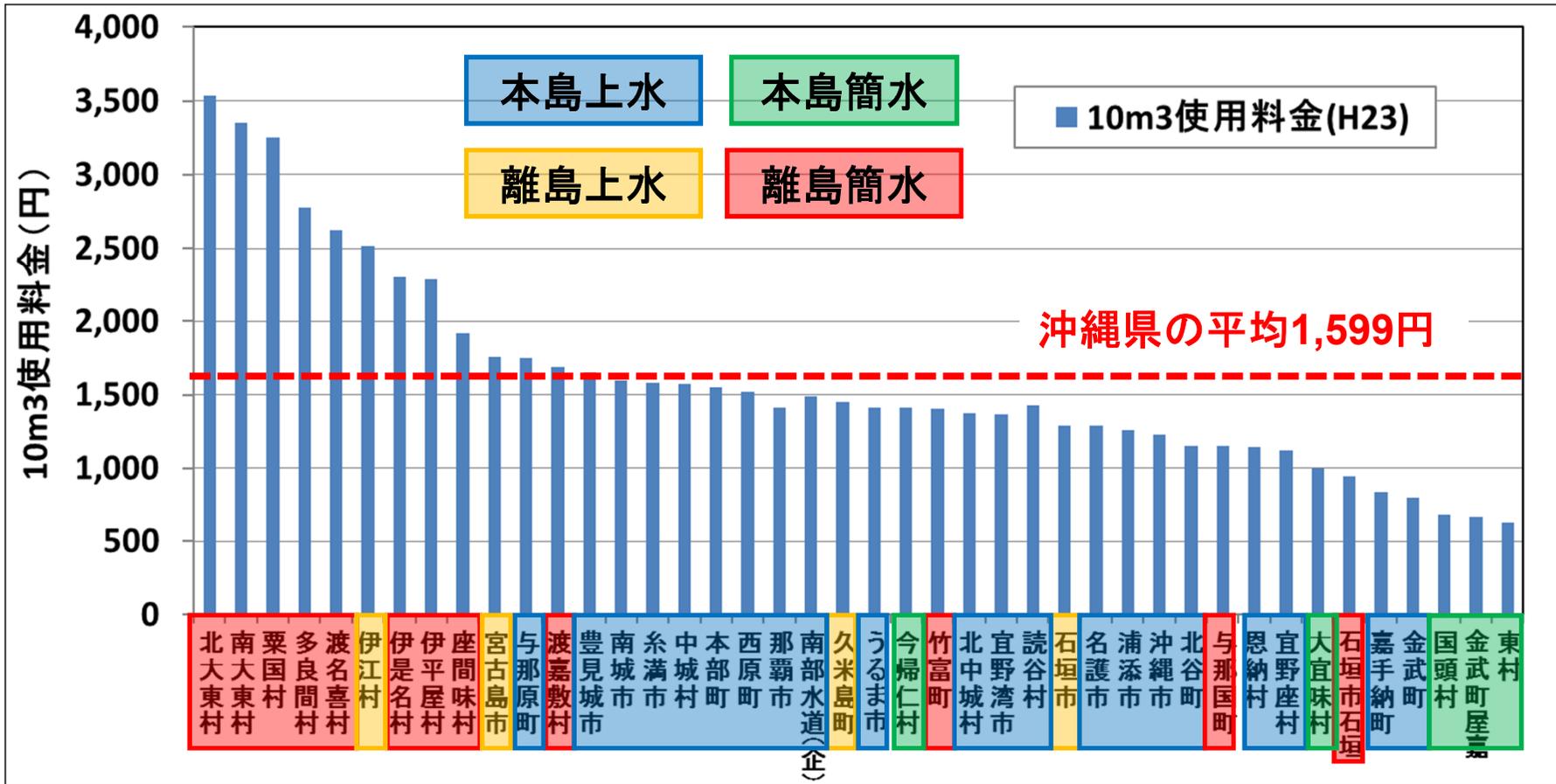


○職員数が**減少**（上水及び用供20%減、簡水40%減）

○特に**簡易水道事業の体制が脆弱**（専任職員1人／事業体）

1. 沖縄県の地勢・水道の現状

—水道料金—



○地域の状況により、水道料金の差がある。

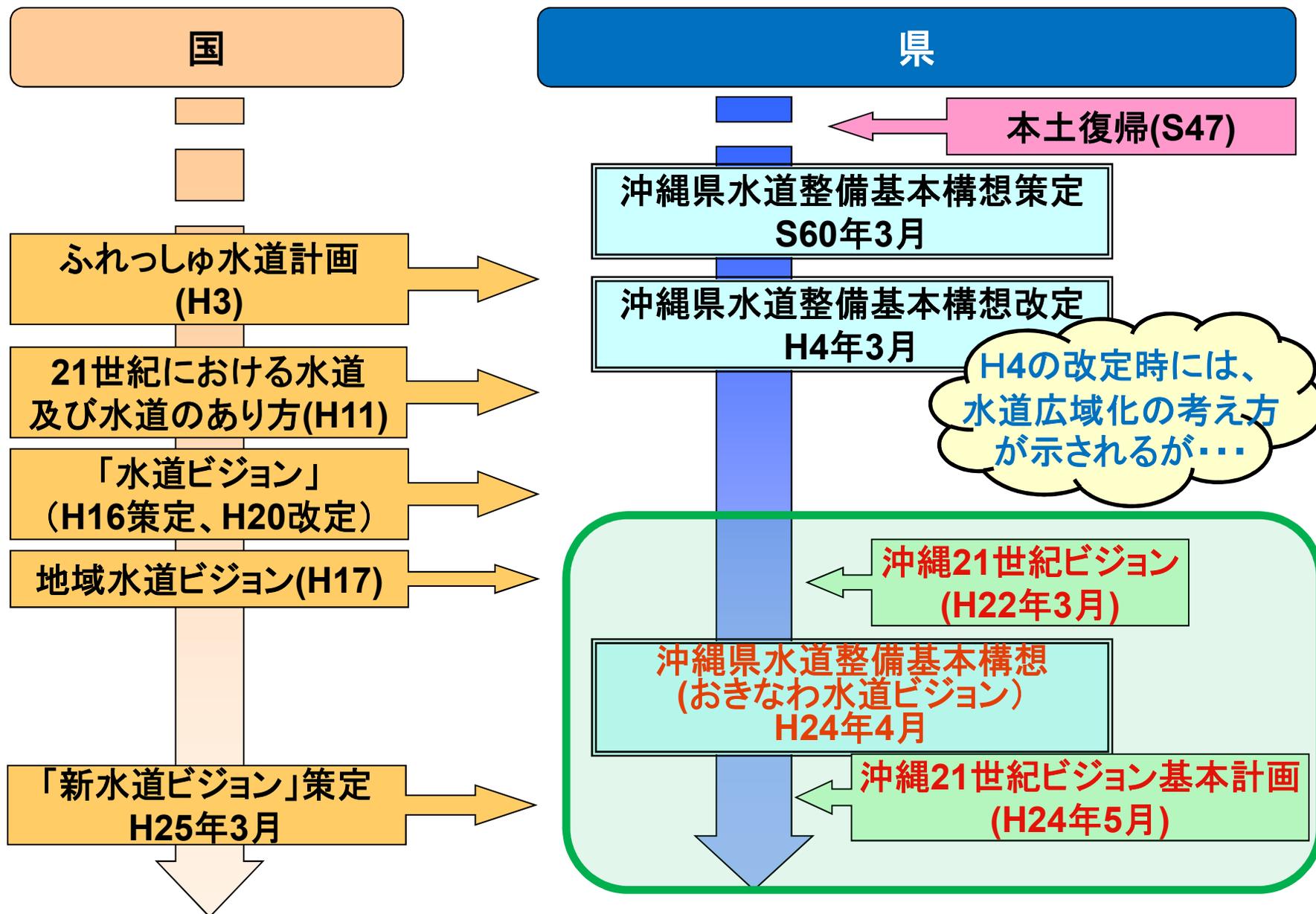
○特に、水源の乏しい小規模な離島の料金が高い。



2. 沖縄県の計画

2. 沖縄県の計画

—国と県の主な経緯—



2. 沖縄県の計画 — 沖縄21世紀ビジョン —

沖縄21世紀ビジョン
【想定年：2030年】

将来像の実現に向けた
取組みの方向性を示す

基本構想

基本計画（計画期間：10年）

実施計画（計画期間：5年）

目指すべき将来像

- ① 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
- ② 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
- ③ 希望と活力にあふれる豊かな島
- ④ 世界に開かれた交流と共生の島
- ⑤ 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

将来像実現に向けた展開方向

水道分野における**ユニバーサルサービスの向上**に向け、**水道広域化に取り組む。**

2. 沖縄県の計画 —おきなわ水道ビジョンでの広域化の位置づけ—

基本理念

安全・安心な水道水を安定的に将来にわたって供給できる水道の構築

計画期間

計画期間は、20年（目標年度：H42）

目標達成の方策（水道広域化の考え方）

水道の運営基盤の強化・利用者サービスの向上を目的として「**水道広域化の推進**」を方策の一つとしている。

役割

【県】：水道事業者の連携に資する各種調整や合意形成などの
コーディネーターとしての役割等

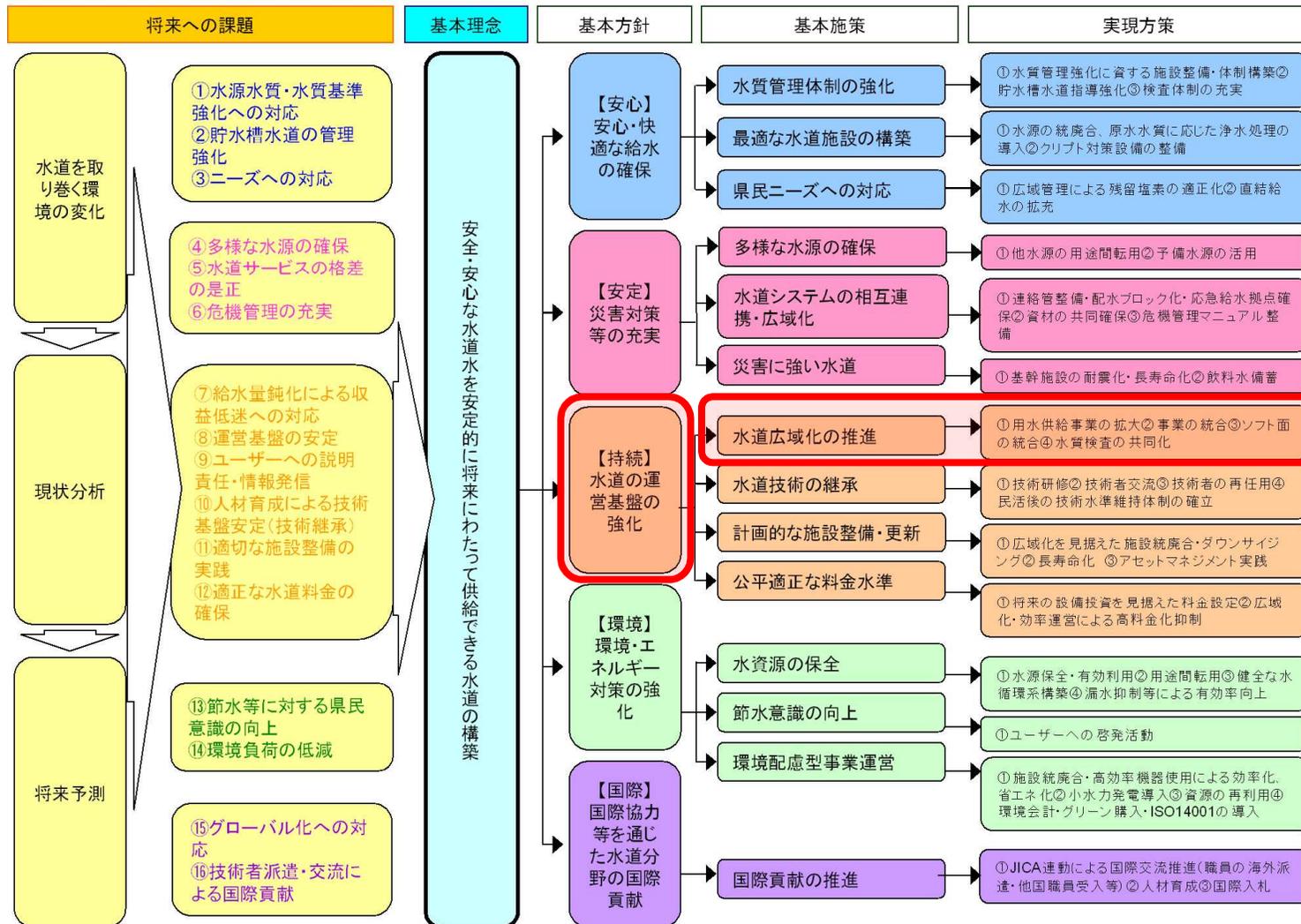
【水道用水・水道事業者】：県と協働して取り組むパートナー等

【利用者（県民等）】：水道事業を支えるパートナー等

2. 沖縄県の計画

—おきなわ水道ビジョンでの広域化の位置づけ—

おきなわ水道ビジョンの概要



出典：沖縄県水道整備基本構想～おきなわ水道ビジョン～（沖縄県）



3. 沖縄県における取組み状況

3. 沖縄県における取組み状況 — 検討チームの設置 —

水道広域化検討ワーキングチーム【H22設置】

設置目的等

- 水道の広域化について積極的に推進するため、諸課題の抽出、対応策等を具体的に検討することを目的に設置。
- これまでに通算10回会議を実施（H25は4回実施）

構成メンバー

【水道行政】
環境生活部
生活衛生課

【市町村財政・振興・水源】
企画部
市町村課（財政）
地域離島課（振興・水源）

【県営水道】
沖縄県企業局
総務企画課（財政）
配水管理課（運転管理等）
建設計画課（施設計画等）

それぞれの
役割・立場・視点
から検討

3. 沖縄県における取組み状況 — 主な検討・調査内容 —

1. 水道事業・水道施設の状況・見通しについて

- ①水需給 ②水源・水処理 ③簡易水道保有資産・地方債の状況
- ④土地の所有(民有地等)状況

2. 現地調査の実施、水処理・運転管理体制の検討

- 小規模離島簡易水道事業の水処理、運転管理状況の調査
- 調査を基に広域化を想定した、最適な水処理、運転管理の検討につなげる。

3. 制度の整理

- 国庫補助金、地方債の取扱い
- 水源(水利権等)の取扱い

4. 水道広域化の形態(モデル)について

- 想定される広域化モデルの抽出・効果の検討
- 広域化後の姿の可視化(広域化・財政シミュレーションの実施)



4. 今後について

4. 今後について — 取組みのイメージ —

県内部での検討・議論は進捗



検討内容を踏まえて

今後は、県民・関係事業者のコンセンサスを図る取組みが必要！
例えば、
関係者で構成する協議会やシンポジウム等の実施を計画



今後も、ユニバーサルサービスの向上に向け、
水道広域化に取り組んでいきたい！





ご静聴ありがとうございました。
